

(市長のビジョンについて)

現在、井上市長は、行政の維新で人件費の削減を必死に図られています。4年後に経常収支比率を95%まで引き下げ、そのために人件費を平成22年度決算と比較し20億円近くも下げると明言されました。これが実現されれば、非常に評価されるべきことです。しかし、財政の健全化や公務員改革ができただけでは、市長として十分な仕事をしたとは言えないというのが新選会の見解です。

そこで、お聞きしたいのは、財政健全化を達成するとともにこの吹田をどのようなまちにしていきたいのかというビジョンであります。

市長は今、行政の維新という名のもと、事業見直し等で他市より厚かった福祉政策もどんどん削られています。市民の反対も大きいでしょうが、財政が厳しい以上、近隣他市と比較して余りに突出した事業は見直していくべきであると我々も考えており、持続可能な福祉を実現するためのものと理解しておりますので、大きく反対はいたしません。しかし、削り続けた先に何もなければ、今回涙を飲んだ受益者やみずからの身を削らんとしている職員に、市民から選ばれた議員としてかける言葉が見当たりません。

そこで、市長に伺います。この行政の維新プロジェクトの先、市民、職員が頑張って努力した先に市長が描かれている吹田はどのようなまちでしょうか。吹田はこんなまちになって、市民が心豊かに誇りを持って暮らせるんだという未来像について、できるだけ詳しく市長のお考えをお聞かせください。

以上で、1回目の質問を終わります。

(井上哲也市長答弁)

吹田市のビジョンについてでございますが、私は持続可能で市民満足度の高い市政運営を推進し、未来に希望の持てるまちを実現することを目標に掲げております。そのため、吹田のまちを元気にするということを念頭において、財政の立て直しを図りつつ、職員が元気にモチベーションを高く働ける体制を整え、地域コミュニティや地元経済に元気を呼び込めるような活性化策に精いっぱい取り組んでまいります。

以上、よろしく願いいたします。

(足立将一再質問)

市長の方向性、まちづくりのビジョン、まちに対するビジョンですが、元気にするという言葉は非常に私も好きな言葉でございます。元気が大事であります。しかし、やはり少し抽象的であると考えます。どのように元気にしていくのか、

どのような分野でどのようなものを元気にしていくのか、もう少し明確にお答えいただければと思います。

(井上哲也市長答弁)

再度の御質問をちょうだいいたしました。

吹田市のビジョンについてでございますが、現時点で申し上げることができるのは、やはり地元経済の維新、そして教育の維新ということの推進の中で、やはり吹田のまちを元気にするということであると思います。特に、地元経済の維新でありましたら、国際戦略総合特区、吹田操車場跡地、そこでの税収を上げる戦略、成長戦略をやる。そして、地元の企業が吹田から出て行っていただかないような施策をする、また他市からも企業を引っ張る、そういったことの推進で吹田のまちを元気にするということを今私のほうは目指させていただいております。